学校整理番号(115)

動物管理科　昼間部
ホースプロコース

１年生シラバス

学校法人 中村学園
専門学校 ちば愛犬動物フラワー学園

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ホースプロコース	
科目名	騎乗理論					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	5 単位
		通年	5 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	郷原恵子						
	実務経験	有	乗馬クラブ経営３２年。平成８年より有資格者として乗馬の指導にあたる。				
授業概要	馬と騎手の信頼関係を築けるよう、騎乗の為の知識と技術を理論で理解する。併せて適切な厩舎管理、馬とコミュニケーションを学び実践に生かす。					授業形式	講義
到達目標	騎乗時における正しい姿勢とバランスを学ぶ。馬術的な扶助と随伴を理論で理解し実践に生かす。馬の特性を理解し飼育管理に生かし、馬の良き理解者となり馬をサポートするライダーになる。ライセンス取得の為の筆記試験対策を学ぶ。競技会に必要なルールや知識を学び実践で生かす。						
教科書 教材	レッツエンジョイ、人馬の基礎訓練、スタンダード馬場馬術、他参考資料配布						

授業計画	授業内容
1～2	オリエンテーション/自己紹介/ライセンス試験等の説明/授業の進め方
3	馬についての知識①品種血統/馬似について(本能や性質、そのと取り扱いについて)
4	厩舎から引馬、馬装などについてDVD鑑賞、鞍や馬具についての知識
5	馬の個体識別の方法/毛色や白斑、マイクロチップの説明/馬の健康手帳を見て確認
6	厩舎管理について大切なこと/平常と違うことを見つけるための知識
7	健康な馬の見分け方/良好な状態での数値を知り、以上を認識する
8	厩舎管理における馬体の手入れ、方法についての知識
9	馬具の手入れについて
10	乗馬の服装について
11～13	騎手の座りの養成。バランスと緊張緩和。座りの基礎
14	馬の動きと一体になること①常歩
15	軽速歩について
16～18	扶助について
19～20	馬の動き方、基本歩法(三種の歩度)
21	回転と輪線運動について
22～24	復習
25	部班運動について、各種運動の指示
26～27	経路の分析および基本ルールについて
28	正しい停止の扶助について
29～30	間違った乗り方や癖についての原因と矯正について
31～33	一歩進んだ、騎乗の知識。ハーフホルト
34～36	復習
37	競技会に必要な知識を身に着ける
38 ～ 39	駈歩技術向上に必要なこと
40	調馬索について
41 ～ 50	馬場馬術競技のテクニックと知識
51 ～ 70	馬場馬術の運動の基本
71 ～ 78	馬場馬術における問題とその解決
79 ～ 82	馬場馬術調教の６要素について動画で学ぶ

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 普通
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ホースプロコース	
科目名	馬の獣医学					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	1 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	野口 健						
	実務経験	有	成田市周辺で馬の開業獣医師として30年				
授業概要	馬の獣医学は、馬を管理し育成していく上で指針とすべき分野であり、馬の行動特性、生理機能、病気等について理解し馬の健康維持や増進に役立つ知識を習得する。					授業形式	講義
到達目標	馬の体の構造や機能、飼養管理法、病気について理解を深めることは、馬の福祉を念頭に置きつつ、馬とより良いパートナーシップを築き、人として成長し真のホースマン、ホースウーマンとなる事。						
教科書・教材・服装等	新　馬の医学書						

授業計画	授業内容
1	歴史と分類：分類と進化、歴史、品種と用途について理解する。
2	感覚機能、学習能力及び行動特性について理解する。
3	馬体各部の名称、個体鑑別、毛色、特徴について理解する。
4	馬体の構造と機能：骨の種類と役割、骨の構造、骨の代謝と成分について理解する。
5	馬体の構造と機能：関節の働き、仕組み、種類、歩法について理解する。
6	馬体の構造と機能：筋肉と腱の働き、体幹の主な筋肉の役割、について理解する。
7	馬体の構造と機能：蹄の定義、蹄の仕組み、蹄機について理解する。
8	馬体の構造と機能：血液の成分と働き、馬の血液の特徴、心臓循環系について学ぶ。
9	馬体の構造と機能：呼吸器系、上下気道の仕組みと働きについて理解する。
10	馬体の構造と機能：消火器系の特徴、仕組み、について理解する。
11	馬体の構造と機能：泌尿器系、感覚器系、の特徴及び働き、について理解する。
12	馬体の構造と機能：神経系、内分泌系、免疫系について理解する。
13	馬体の構造と機能：生殖器系、遺伝と発生、胎子、分娩について理解する。
14	前期学習内容の復習
15	病気概論：病気とは、病気の診断、診断の要領について理解する。
16	病気の各論：多くの臓器や器官を同時に侵す全身の病気について理解する。
17	骨格系、筋肉系、蹄の病気について理解する。
18	血液・循環器系、呼吸器系の病気について理解する。
19	消火器系、泌尿器系の病気について理解する。
20	感覚器系、神経系の病気について理解する。
21	内分泌系、免疫系の病気について理解する。
22	生殖器系、寄生虫による病気について理解する。
23	ウイルス、細菌、真菌、原虫、中毒による病気について理解する。
24～25	健康状態把握の基本、発育期整形外科的疾患について理解する。
26～27	馬の福祉：アニマルウェルフェアに対応した動物管理について理解する。

成績評価方法	・出席率	定期試験 ○	筆記試験
	・定期試験や小テスト	定期試験	実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）	定期試験	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 普通
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト89～70点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ホースプロコース	
科目名	指導者理論					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	1 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	千葉　千尋・丸尾　優菜						
	実務経験	有	乗馬指導者資格有。				
授業概要	乗馬における安全およびリスクマネジメントを学ぶ。また、指導者として傷病者の対応が迅速に行えるよう一時救命処置の知識および技術を習得する。乗馬クラブの指導者の心得・接客時の心構えを学ぶ。また、乗馬指導者として知っていなければならない馬に関する専門知識を身につける。					授業形式	講義
到達目標	より安全に乗馬するための知識と基礎馬学を理解し、より良いサービス提供のできる人材及び指導者の育成を目的とし、就職においての実務的な知識・行動を身につける。						
教科書・教材・服装等	・乗馬安全マニュアル　・乗馬指導者の心得と基礎馬学　・JFE規定集						

授業計画	授業内容
1	初回挨拶と自己紹介・教科書説明
2	スポーツと安全①
3	スポーツと安全②
4	乗馬と安全
5	乗馬活動中の損傷・疾病と応急処置①
6	乗馬活動中の損傷・疾病と応急処置②
7	乗馬活動中の損傷・疾病と応急処置③
8	乗馬活動中の損傷・疾病と応急処置④
9	乗馬クラブ（施設）における安全対策①
10	乗馬クラブ（施設）における安全対策②
11	乗馬指導中の事故における法的責任①
12	乗馬指導中の事故における法的責任②
13	前期まとめ
14-15	規定集1(障害馬術)
16-17	規定集2(馬場馬術)
18-19	規定集3(エンデュランス)
20-21	乗馬指導者の心得
22-23	馬の外貌と個体識別1
24-25	馬の外貌と個体識別2
26-27	馬体の構造
28-29	乗馬の蹄とフットケア1
30-31	乗馬の蹄とフットケア2
32-33	馬の運動
34-35	馬の栄養と飼料1
36-37	馬の栄養と飼料2
38-39	馬の健康管理1
40	馬の健康管理2
41	後期まとめ

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率100%・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率99～90%以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 普通
	C評価	出席率89～80%以上・定期試験や小テスト79～70点以上・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科	コース名	ホースプロコース
科目名	動物管理実習	必修・選択必修の別	必修

実施期							授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	6　単位
	1年	前期	単位	後期	単位			
		通年	単位					
	2年	前期	単位	後期	単位			
		通年	6　単位					

担当講師			
	千葉　千尋　・　郷原　恵子　・　丸尾　優菜		
	実務経験	有	乗馬指導者資格有。

授業概要	馬の心と身体両面の健康維持のための適切な厩舎管理を学ぶ。 馬の性質や癖を知り、安全に正しく管理する。 また、馬の異常を見抜く観察眼を養う。	授業形式	実習
到達目標	大動物の管理に必要な体力を身につける。 日々の厩舎作業を、効率良く正確に時間内に完了する。 馬の性質や癖を知り、安全に正しく管理する。 馬の正常な呼吸数、体温、脈拍数を知り、馬体検査や病気の予防方法を身につける。		
教科書・教材・服装等	・LET'S ENJOY RIDING　・スタンダード馬場馬術　・人馬の基礎訓練　・馬事馬術用語辞典		

※乗馬の知識や技術の習得は、個人の経験により異なるため、学生ごとにカリキュラムの順番や内容が異なる場合があります。そのため、学習内容はシラバスに記載された内容に限定されません。

授業計画	授業内容
1	オリエンテーション
2～3	実習道具・教材の確認
4～5	実習地(千葉ライディングパーク)
6	自己紹介
7～9	馬の本質的特性
10～20	厩務作業(馬房掃除)
21～31	厩務作業(飼料・水の給餌)
32～34	馬具の手入れについて
35～39	乗馬の服装について
40～42	厩務作業(繋留)
43～53	厩務作業(馬の手入れ)
54～64	厩務作業(馬装)
65～67	厩務作業テスト(馬房掃除・手入れ・馬装)
68～77	厩務作業(馬の健康管理)
78～83	厩務作業(毛刈りとトリミング)
84～89	厩務作業(馬のたてがみと尾の編み方)
90～100	厩務作業(調馬索運動・調教方法)
101～105	厩務作業(ワクチン管理)
106～108	厩務作業(馬輸送)
109～111	厩務作業(馬着)
112～114	厩務作業(手入れ道具の管理)
115～119	厩務作業(馬具の管理)
120～129	馬の蹄と装蹄
130～134	環境整備
135～181	厩務作業の実践

成績評価方法		定期試験		
	・出席率			筆記試験
	・チェックテストや実技試験			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準		
	A評価	出席率95％以上・実技試験評価　優れている（90点以上）・平常点　優れている
	B評価	出席率94～85％以上・実技試験評価　普通（89～80点以上）・平常点 普通
	C評価	出席率84～75％以上・実技試験評価　やや劣る（79～70点以上）・平常点 やや劣る
	F評価	出席率84～75％以上・実技試験評価　やや劣る（79～70点以上）・平常点 やや劣る

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ホースプロコース	
科目名	騎乗トレーニング					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	14 単位
		通年	14 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	千葉千尋・郷原恵子・丸尾優菜						
	実務経験	有	乗馬指導者資格有。				
授業概要	乗馬の基礎の修得、馬の動きに対する知覚力を身につける。 馬とのコミュニケーションのとり方、マナーを学び、馬との信頼関係を築く。					授業形式	実習
到達目標	馬具の用途を理解し、馬の個々の馬装を正確に行う。 3種の歩法（常歩・速歩・駈歩）を正しい姿勢で騎乗する。 競技会に参加し、競技と使役の実践経験を積む。 全国乗馬倶楽部振興協会が発行する乗馬技能3級ライセンスを取得する。						
教科書・教材・服装等	・LET'S ENJOY RIDING　・スタンダード馬場馬術　・人馬の基礎訓練　・馬事馬術用語辞典						

授業計画	授業内容
※乗馬の知識や技術の習得は、個人の経験により異なるため、学生ごとにカリキュラムの順番や内容が異なる場合があります。そのため、学習内容はシラバスに記載された内容に限定されません。	
1	オリエンテーション
2～3	実習道具・教材の確認
4～5	実習地（千葉ライディングパーク）について
6	自己紹介
7～18	馬の手入れについて
19～30	馬装について
31～33	馬具の手入れについて
34	乗馬の服装について
35～36	騎手と馬の関係について
37～39	練習馬について
40～44	乗馬・下馬について
45～47	手綱の持ち方について
48～50	基本歩法について
51～55	常歩について
56～60	馬上体操について
61～63	号令について
64～66	図形について
67～69	蹄跡/手前について
70～72	隅角通過について
73～75	馬場表記・馬場規則について
76～78	部班運動について
79～88	速歩について
89～101	回転運動について
102～111	駈歩について
112～116	扶助について
117～119	１鞍の組み立てについて
120～122	内方姿勢について
123～125	半減却・全減却について
126～128	歩法移行について
129～138	銜受について
139～143	障害飛越について
144～146	ジムカーナについて
147～156	ライセンスについて　ライセンス受験
157～161	CRP競技会について　競技会出場・見学・運営
162～166	外部競技会について　競技会出場・見学
167～396	騎乗練習

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・チェックテストや実技試験、馬術競技会成績			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率95％以上・実技試験評価　優れている（90点以上）・平常点　優れている
	B評価	出席率94～85％以上・実技試験評価　普通（89～80点以上）・平常点 普通
	C評価	出席率84～75％以上・実技試験評価　やや劣る（79～70点以上）・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ホースプロコース	
科目名	パソコン					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	2 単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	中島 雅子						
	実務経験	有	MOS取得。パソコンインストラクターとしての実務経験は20年以上。				
授業概要	Windowsの基本操作を理解し、学生生活でも社会人になっても役に立つWord文書作成、及びExcel表計算の基本機能や操作方法を学ぶ。また、情報化社会を生きる上で必要とされるネット利用のマナーの習得・情報検索を一部の講義と演習を組み合わせて実施する。					授業形式	講義
到達目標	・Windowsの基本的な操作に慣れる。 ・ローマ字入力による文字入力を効率的で正確に行うことができる。 ・Microsoft WordとExcelの基本操作を理解し、実践できる。 ・情報モラルを守る姿勢を身に付ける。						
教科書・教材・服装等	・30時間アカデミック情報リテラシーOffice2016（実教出版） ・USBメモリ						

授業計画	授業内容
1	オリエンテーション：PC教室利用上の注意・授業内容及び評価の説明・アンケート
2	タイピング 基本トレーニング：PCの起動・ログイン方法・タイピング練習
3~4	Word 基本１：基本操作を覚える・USBメモリの取扱い方・タイピング練習
5~6	Word 基本２：効率よく入力する（様々な文字の種類・記号の入力など）
7~8	Word 基本３：基本操作のまとめ
9~12	Word 基本的な文書作成１：編集の手順・編集作業・ページ設定など
13	Word 基本的な文書作成2：印刷・ページレイアウトなど
14~16	馬具の手入れについて
17	乗馬の服装について
18	Word 表現力をアップする２：テーマを決め作成する
19~20	Word まとめ：総復習、自由作成課題を仕上げる、著作権を考える
21~22	Excel 基本１：基本操作を覚えよう・データを効率的に入力する・セルの書式設定
23~24	Excel 基本２：基本操作のまとめ・印刷設定・ページレイアウトの役割を知る
25	Excel 数式と関数：四則演算・連続データ・表示形式など
26	Excel データベース：リストとは(顧客名簿と入力規則)・大きなデータの表の扱い方
27	Excel グラフ：グラフ作成する・グラフの構成要素・グラフをカスタマイズする
28	Excel まとめ：総復習

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・確認テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）		○	実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％以上・確認テスト90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・確認テスト75～89点・平常点 普通
	C評価	出席率80％以上・確認テスト60～74点・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ホースプロコース	
科目名	ビジネストレーニング					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	1 単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	古沢 真希						
	実務経験	有	メディア等各局で司会やキャスターを経て、研修会社を設立。様々なセミナー、講演会をプロデュースする傍ら、自らも講師として活躍。				
授業概要	ビジネス・マナーの基本スキルの確立と応用マナーの学習。参加・実習型訓練形式。					授業形式	講義
到達目標	基本の挨拶、メールの送り方、電話応対、話し方など、しっかりと覚えておくべきマナーとルールを身につける。シチュエーション別に自然な態度で礼儀作法にかなった接遇ができるようになるのが目標。						
教科書・教材・服装等	ビジネス・ハンドブック						

授業計画	授業内容
1	セルフ・プレゼンテーション
2	挨拶／お辞儀
3	言葉遣い　敬語１
4	言葉遣い　応対用語
5	電話応対　基本
6	電話応対　取次
7	馬具の手入れについて
8	乗馬の服装について
9	訪問のマナー
10	来客応対　席次　案内
11	エレベーターのマナー
12	イノベーション・ゲーム
13	自己の棚卸し
14	総まとめ　テスト対策

成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない

成績評価基準	A評価	出席率90％以上・定期試験や小テスト90点以上・平常点 優れている
	B評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト75～89点・平常点 普通
	C評価	出席率80％以上・定期試験や小テスト60～74点・平常点 やや劣る
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	動物飼育コース	
科目名	自己理解(&就職ガイド)					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	1 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	小園　達郎						
	実務経験	無	学生用LIFOライセンス講座を受講				
授業概要	個人が協調しあう「社会」にでるために、まずは自分自身を知る自己理解が重要です。 この自己理解がしっかりできていれば、自身の進むべき方向性が把握でき、他者との協調がよりスムーズになります。そこでこの科目では下記3点を目的とし、1年生前期で自己理解を深めます。 ①自己理解の3つの方法を身につけ、人間力の土台となる自己理解の能力と自信を高める。 ②自分の個性について、より広くより深く理解する。 ③知識、能力面を含めて自分自身に自信を持って語るための自己分析シートを作成する。 動植物業界で求められる人材の育成。今後始まる就職活動に向けての必要な知識を身につけ、キャリアプランの構築を行う。					授業形式	講義
到達目標	自分の強みを知り、学生生活や人間関係、将来の仕事などで役に立つ「自分だけの必勝法」を見つけます。 具体的に授業を通して以下のようなことができるようになります。 ・友人や苦手な人との付き合い方が分かり、人間関係がスムーズになります。 ・自分の長所が自己分析でき、就職活動やアルバイトの面接などに役立ちます。 ・勉強や自己啓発のより良いやり方・進め方がわかり、今までよりも成果が上がります。						
教科書・教材・服装等	LIFOテキスト（㈱ビーコンラーニングサービス）2,160円 個人レポート（㈱ビーコンラーニングサービス）540円 質問紙（㈱ビーコンラーニングサービス）1,080円						

授業計画	授業内容
1	自己理解とは・自己理解の大切さと難しさの理解
2	ライフライン・自分自身をより深く理解する
3	LIFO診断
4	LIFOスタイル・LIFOの基本的考え方の理解
5	強みの確認①
6	強みの確認②
7	強みの確認③
8	馬具の手入れについて
9	乗馬の服装について
10	就職室の紹介
11	『Ｇｏｏｇｌｅ　classroom』運用と使用方法の説明（誓約書回収）
12	業界インターンシップについて
13	就職セミナーについて
14	企業研究の仕方
15	強みの使い過ぎの確認
16	強みの拡張
17	自己分析シートの完成
18	福利厚生・社会保険について
19	身だしなみ指導
20	企業説明会
21	インターンシップに向けて
22	ESの作成指導
23	自己PRの基本構築と作成
24	電話のかけ方
25	インターンシップ事前準備
26	志望動機の基本構築
27	インターンシップ準備、企業説明会
28	課題レポートの作成

成績評価方法	・出席率		定期試験		筆記試験
	・課題提出（自己分析シート、ライフライン）				実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			○	実施しない
成績評価基準	R評価	出席率80%以上・課題提出・平常点 優れている			
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合			

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	ホースプロコース	
科目名	コミュニケーション					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期		単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	1	単位			
	2年	前期		単位	後期	単位	
		通年		単位			
担当講師	千葉　千尋						
	実務経験	無					
授業概要	社会人として必要な知識やコミュニケーション能力を学校生活を通じて会得していく。					授業形式	講義
到達目標	社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーション能力を身に付ける。						
教科書・教材・服装等	無し						

授業計画	授業内容
1	学校生活について①
2~3	専門学校生としての心構え、学校生活においての目標設定
4~5	挨拶と返事の仕方、お辞儀の仕方や身だしなみ
6~7	メラビアンの法則、言葉遣い
8~9	学校行事についてのディスカッション①
10~11	学校行事についてのディスカッション②
12~13	敬語表現や使い方
14	馬具の手入れについて
15~16	乗馬の服装について
17~18	学校行事についてのディスカッション③
19~20	学校行事についてのディスカッション④
21	プレゼンテーション例
22~26	プレゼンテーションと振り返り
27	総まとめ

成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実技試験
			○	実施しない

成績評価基準	R評価	出席率80%以上・提出物・平常点 優れている
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合